

フクロウさんお家にしてね

3月17日（木）酒田市宮海字新林国有林の「しんちゃんの森」に大型猛禽類であるフクロウなどが巣作りができる「巨大巣箱」（60 cm×45 cm）を設置しました。この巣箱は、庄内森林管理署大鳥森林事務所の皆さんから製作して頂きました。酒田地域は3月中旬というのに残雪が残り、例年であればすっかり雪が消えて農作業の準備に入っているところですが、今年の春はもう少しお預けのようで、雪降りの天気の中、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター職員4名での巣箱設置となりました。

庄内海岸林は、南北約33 km、東西（幅）約3 kmで国有林が約800haを占めており、希少猛禽類であるオオタカやフクロウが生息している生物多様性に富んだクロマツ林が成林しています。「しんちゃんの森」には保育園児とその父兄が作成した十数個の巣箱が既に設置され、シジュウカラ、ヤマガラ、アカゲラなどの野鳥の住まいとなっており、園児達は野鳥に興味を持ち、観察する心が芽生えました。今回設置した「大型巣箱」には、フクロウのペアによる巣作りを行ってほしいものです。フクロウ用としては設置時期が遅れましたが、春が迫って来ている「しんちゃんの森」では、ザプライズもあるかもしれません。

西荒瀬保育園の卒園式は3月19日に執り行われる予定で、年長組によるクロマツの歌の歌声が「しんちゃんの森」に響くことでしょうか。フクロウさん、どうぞ、住宅探しに「しんちゃんの森」にお越し下さい。

平成23年度の「みどりの保育園推進事業」も4月からスタートします。今後も園児等の皆さんの活動内容を掲載して行きますので楽しみにして下さい。

